

復興支援フォーラムニュース No. 95

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)

原発被災地における復興まちづくり計画

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員
間野 博

1. 原発事故被災地の現状と動向

- ・「避難指示区域」「自主的避難等対象区域」
- ・避難者数
- ・震災関連死
- ・「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」
- ・「福島再生加速化交付金」
- ・「福島復興再生拠点整備事業」
- ・イノベーション・コースト構想、12市町村の将来像有識者検討会
- ・第1原発の廃炉化、除染の遅れ
- ・「中間貯蔵施設」
- ・避難指示解除の動き
- ・帰還者の実態
- ・15年度：「2区域の避難指示解除、29年3月」(5/13)「自主避難住宅提供終了へ」(5/17)「与党、復興へ第5次提言」(5/30)「復興・創生期間の予算と負担」(6/4)

2. 原発被災者の状況

- ・個々の住民はもっと千差万別
- ・家族の中でも意見が異なる
- ・帰還率の違い

3. 原発被災地の復興まちづくり計画の難しさと必要性

<難しさ>

- ・計画条件全般に、見通しが不透明
- ・帰還人口の見込みも困難

<必要性>

- ①自治体の将来像を示し、復興の目標を共有
- ②避難住民の帰還の判断資料
- ③庁内関係課や復興を担う主体が足並みを揃える、
- ④国・県への復興予算等の要望

4. 原発被災地における特異性

- ①「場」と「人」の不一致
- ②内と外、両方の計画
- ③自治体存続の危機
- ④不透明な計画条件
- ⑤「0」からのまちづくり

5. 自治体毎の計画の個別性

- ・各自治体で必要な計画の意味が異なる
- ・避難指示区域の区別の違い
- ・それぞれの区域の元の人口や土地利用
- ・帰還可能時期のズレ
- ・帰還のための現実的な計画 vs 将来の希望が湧く計画

6. プラニング上の特殊性

- ①住民の計画参画
- ②自治体のマンパワー強化
- ③国・県の役割
- ④専門家の関わり方

7. 復興計画づくりの現場の課題

- ①計画の位置づけ
- ②「復興」に関する国と被災者のズレ
- ③「復興計画」と「復興整備計画」
- ④産業の誘致か復活か？
- ⑤「白地地域」
- ⑥「避難指示解除」と「帰還生活」

8. 今後の課題

- ・新しい計画技法
 - ・計画の見直しルール
 - ・マスタープランと実施計画の整理
- 「原発被災地における復興まちづくり計画のあり方」

第92回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

5月28日、第92回ふくしま復興支援フォーラムを福島市「AOZ」で開催しました。

佐藤敏文氏（福島県商工会連合会指導部広域指導課長）から「福島県における商工業の復興の状況と課題 ～営業損害賠償に触れて～」について報告をいただきました。

28人が参加し、活発な質疑応答がなされましたが、会場で文書などで寄せられたご意見などを、以下に紹介します。

~~~~~

★ 賠償等の細かいお話を聞くことができ、ありがとうございました。打ち切り等の判断が、被害者の側でなく加害者（国、東電）側にあるということのおかしさ、むずかしさがわかりました。被害者の側からの基準づくり等はできないのか、と考えてしまいました。また、頑張って再開した事業者に対する支援の手薄さについても、よく分かりました。（T.T）

★ 最近、自民党の提言案で、精神的慰謝料打ち切りなどが、話題になっていたので参加してみました、大変勉強になりました。（H.Y）

★ 原発事故と事業者の問題を、コンパクトに分かりやすく解説して頂き、ありがとうございました。（N.O）

★ マクロ・ミクロ、長期・短期の両面から深く考えさせる報告で、大変示唆的であった。大変、中身の濃い有益な報告であった。報告者の佐藤さんのような方が、この4～5年の困難な状況を目撃し、対応し、支えていたことを改めて考えさせられた。（S.I）

★ 損害賠償の打ち切り後の問題、課題について、身近なこととして考えさせられました。これからの福島、先が見えない状況が続くと暗澹たる思いに。施策につながる提言を根気よく続けることしかないですね。（K.A）

★ 商工業の現状についてご紹介いただき、大変参考になりました。（T.K）

★ 商工会・商工会連合会が、今後も中小企業に寄り添う姿勢を取られることを希望します。（Y.I）

★ 賠償問題が、福島の復旧に大きな影響を及ぼすことがリアルにわかった。整理して、方向性を明確にしていくことが、福島にとって重要とわかった。ありがとうございました。（M.S）

★ 一般の人は、まだピンときていない、このフォーラムも始めて聴きました。ふくしまの危機が差し迫っているのではないかととても不安です。原発反対というと、政治的と思われるので、言いづらい。（S.S）

★ 本日は大変貴重なお話をありがとうございました。今日のお話を参考に、被災地のことを考えていきたいと思えます。（T.H）

★ 大震災・原発事故に伴う被災企業の避難先における経営実態を調査され、商工団体として会員の早急な再開を目指すために努力されている姿に感動いたしました。（K.F）

★ 現在、被災地の中高生の人材プログラムをスタートさせております。地域の課題を見つけ、大人を巻き込みながら進める課題解決学習となっております。ぜひ、生徒達に対して、被災後の混乱期および現状の課題などお話しいただき、将来を支える人材の育成にご協力いただければ幸いです。（これまでの成果の一つとして、伊達市の中高生が、地元JAさんとコラボして、桃、柿、リンゴのゼリーを開発しました・「伊達の恵み」）（T.N）

★ 問題を読み解いていくような機会に対する方法として、同分野の人達が、2人程度で意見を述べあう「対談」のような形は、いかがでしょうか？（S.S）

~~~~~  
【予告】第94回フォーラム 2015年6月25日（木）18:30～20:30

「県内水産業の現状と課題」

報告者：遠藤 和則 氏（前相馬双葉漁業協同組合本所部長）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」大活動室1
~~~~~

【予告】第95回フォーラム 2015年7月9日（木）18:30～20:30

「震災報道の現場から ～伝える事の大切さ、伝える事の素晴らしさ」

報告者：大和田 新 氏（フリーアナウンサー）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」大活動室1  
~~~~~

【予告】第96回フォーラム 2015年7月22日（水）18:30～20:30

「放射能汚染と樹園地および山岳生態系

～山岳愛好家・果樹研究者として係った東京電力福島第一原発事故」

報告者：佐藤 守 氏（高山の原生林を守る会代表）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」視聴覚室
~~~~~

【予告】第97回フォーラム 2015年8月6日（木）18:30～20:30

「相双地域におけるメンタルヘルスケアの取り組み」

報告者：丹羽 真一 氏（福島県病院事業管理者、

福島医大・会津医療センター 精神医学講座 特任教授）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」視聴覚室  
~~~~~

【予告】第98回フォーラム 2015年8月20日（木）18:30～20:30

「居住支援協議会 震災被災者の住宅再建と高齢者等の地域見守り」

報告者：斎藤 隆夫 氏（福島県居住支援協議会事務局長、

一般社団法人 福島建築安全機構 専務理事）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」大活動室1
~~~~~